

意見整理表(案)

【資料2】
H27.3.10

	主な見出し	優良な点	改善が必要な点
区 の ま ち づ く り 推 進 の 取 り 組 み	発信の工夫	早いタイミングでの情報発信 ターゲットの絞込み 多くの広報媒体を活用している FBでのリアルタイムの情報発信がおもしろい	地域での情報発信に工夫 文章や構成などに分かりやすさや興味を惹く工夫 発信したい情報の目的が明確でない
	分かりやすい (見やすい) (考えやすい)	他都市事例の紹介でイメージしやすい 対象者同士が向き合い楽しみながら会話していた 自分の地域という意識がある	事業の名称が難しい 情報が偏在していた
	巻き込み (繋がり) (口コミ) (広がり)	小中学生を巻き込んだ情報の発信 広い年齢層に届く情報発信 行政間の横の連携が有効(情報が2課から発信) 地域組織と連携した体制が作られていた	市(区)役所内での連携をもっと高めること ボランティア団体を活用 年齢、性別、職種を超えた巻き込み 行政主導、地域の自発性不足
	丁寧さ	直接訪問による説明努力がよい 度重なる地域への訪問 ワークショップ等による話し合いの「場」の設定	もう一息、もう一押しの検討を期待 繰り返しの情報発信が不足
全 市 的 な 取 り 組 み	発信の工夫	年間を通しての(継続的な)情報発信 段階に分けた情報の発信が良かった タイミングを計った情報発信がある 対象者を絞った情報発信がよい メディアの活用に工夫・多くの媒体の活用 親しみやすいキャラクターを使用していた	情報は不均等、不平等であることを認識する 飽きさせない情報の発信が課題 ひとりひとりに向けた浸透の難しさが課題 無関心層の分析と情報発信の検討 発信したい情報の目的が明確でない キャラクターの更なる積極活用 事業の名称が難しい(愛称の使用)
	分かりやすい (見やすい) (考えやすい)	明確な数値目標を出していた「目標の見える化」 自らの問題として考え易い 自宅でもできる工夫が示されるため興味が沸く	住民の意識まで届く情報の内容を検討 必要性や危機感に気づかせる工夫 本質を伝えきれていない おもしろみが足りない
	巻き込み (繋がり) (口コミ) (広がり)	様々な組織と連携していた 企業を巻き込んだ取り組みが行われていた 地域組織と連携した体制が作られていた ネットワークが作り上げられていた	市役所、各区との連携が必要 ネットワークが十分に活用できていない 地域団体の有効活用
	丁寧さ	対象者を絞り込み丁寧に説明をしている 地道な取り組みにエールを送りたい 必要な方へ適切に情報発信している	伝え手と受け手の温度差を狭める 「相手の身になって」、「自分の事として」が必要
	教育	学校教育への取り組みに力を入れている 出前講座を充実させている	学校現場での教育に更なる努力を 危機感、問題意識の教育 生涯学習とのタイアップを
	イベント (楽しい)	バスツアーの実施が良かった パレードなどのイベントが注目を集めていた ショッピングセンターでの分別ゲームが面白い 頭でなく体に覚えさせる方法を評価	イベントは楽しいが、家に帰ると忘れる